



## フォレストピア学びの森 宮崎県立五ヶ瀬中等教育学校

所在地 西臼杵郡五ヶ瀬町大字三ヶ所9468-30  
電話番号 0982-82-1255  
FAX番号 0982-82-1266  
ホームページ <http://gokase-h.com/>  
メールアドレス [gokase-chuto-s@pref.miyazaki.lg.jp](mailto:gokase-chuto-s@pref.miyazaki.lg.jp)  
在籍者数228名 学級数6学級(令和3年5月1日現在)



### 〈アドミッションポリシー〉

- 寮生活のルールや約束事を守り、自分の身の周りのことは自分でやろうとする生徒
- 相手に対する思いやりを持ち、友達と協力してものごとにもじめに取り組もうとする生徒
- 自然や地域社会での体験活動などに興味があり、何ごとにもチャレンジしようとする生徒
- ひろく好奇心を持ち、不思議に思ったことを大切にして自分から学ぼうとする生徒
- いろいろな人との交流に関心があり、相手の話を聴き、自分の思いを伝えようとする生徒

### 【6年間の一貫教育でともに学ぼう】

本校は、国際社会で主体的に活躍できる人材の育成を目指し、公立では全国初の中学校と高等学校を併せた6年間一貫教育を行う全寮制の学校として、平成6年4月に開校しました。その後、平成11年4月に中等教育学校に校種を変更し、今年で創立28年目を迎えました。充実した施設と五ヶ瀬町の豊かな自然のなかで、生徒、職員、保護者、地域の方々が一体となって「感動と感性の教育」を展開しています。

本校では、前期課程（中学）から後期課程（高校）への入試がなく、中高のつながりを円滑に行うことによって、時間や気持ちにゆとりのある学校生活を送ることができます。また、恵まれた環境のなかで、わらじ作りや伝統芸能の学習、地域ホームステイ、農村民泊、スキー教室など、自然体験や社会体験を通して豊かな人間性を育てるとともに、個性の発見やその伸長を重視しています。さらに、大学進学に必要とされる高い学力を身につけるために、少人数制を活かした個に応じた教育を行っています。

令和2年度から、文部科学省の「地域との協働による高等学校教育改革推進事業〔グローバル型〕」の指定を受け、地域との協働による探究活動に取り組んでいます。

また、ICT利活用にも積極的に取り組んでおり、オンラインを活用した探究学習やPC・タブレットを使った授業も実施しています。



[わらじ作り]

## 【地域を基盤にした体験学習】

1年「郷土探究1」、2年「郷土探究2」、3年「実践探究3」、4年「実践探究4」、5年「普遍探究5」、6年「普遍探究6」からなる「グローバルフォレストピア探究」という時間を設定しています。フォレストピア圏域（県北5町村）の自然や文化をフィールドに、体験学習を多く取り入れながら、自分の手足を使い、自分の目でとらえたことを幅広い視点から探究し、表現できる能力を身につけることを目的としています。

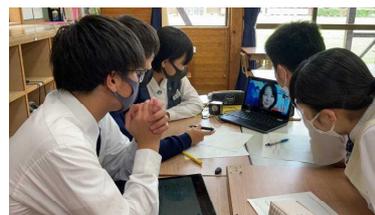
## 【人間性を身につける寮教育】

全寮制による生活体験を通して、学習習慣はもちろん、社会性や自己管理能力、自主性、忍耐力や指導力などを幅広く身につけることができます。異学年の生徒と教師によるファミリー制度を設けて、学校教育を側面から支え、教育効果をあげるとともに、社会生活の基礎を養います。寮には学習室・研修室・音楽室などがあり、寮生大会・リーダー研修会・誕生会など、寮独自の多彩な行事が工夫されています。

## 【学校行事】

本校では、次のような学校行事がありますが、生徒会活動も含め、すべてにおいて前期課程と後期課程の生徒と一緒に活動する姿は、本校独自のものと言えます。

フォレストピア祭（文化の部・スポーツの部）、わらじ遠足、球技大会、スキー教室、地域ホームステイ、海外グローバル探究研修（3年）、国内フィールドワーク（4年）など



[English Day]

## 【卒業後の進路】（過去3年分）

〈国立大〉筑波・千葉・埼玉・お茶の水女子・東京外国語・電気通信・横浜国立・島根・広島・岡山・高知・徳島・九州・九州工業・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島など

〈公立大〉大阪市立・福知山公立・広島市立・山口県立・山口東京理科・北九州市立・熊本県立・宮崎公立・宮崎県立看護・名桜・沖縄県立芸術など 〈私立大〉東京理科・駒澤・日本・法政・明治・立教・専修・関西・関西学院・立命館・福岡・西南学院・九州看護福祉・九州共立・九州保健福祉・宮崎国際など 〈大学校〉防衛大

## 【卒業生の声】

学びの森には「学び方を学ぶ」のに最適な環境がありました。

学びの森では前期生で学びの習慣を、後期生で学びの主体性を育むことができます。まずは設定された学習時間で勉強する習慣を身に付け、その後はある程度の裁量をもって自分自身の学びを計画する。学びの森での生活は今後の人生に役立つ自律性を身に付けるうえで、きっと支えになってくれることでしょう。もちろん、親元を離れての生活に不安はありますが、周りにはいつも助けになってくれる先生や寮母さん、先輩、五ヶ瀬町民の方々がいまして、地元には優しく応援してくれる家族がいます。そして何より一緒に頑張っている仲間（同級生）は、その先の人生における大切な財産になります。人生においての大切な6年間だからこそ、学びの森で「感性」を磨き、自分の可能性を広げてほしいと思います。

宮崎県立宮崎病院 田崎和志（平成26年度卒）